

9月になりました。すぐ10月です

この雑感本来は月初に変更すべき所作者の怠慢により色々になっておりますことまずお詫びしますがスケジュールだけは運営依頼いたしております担当者の激と行政都合によりなんとかUPしております。日時が前後する事ご了承の上閲覧頂ければ幸いです。

残暑というには厳しい暑さが続き、さらにそれに追い打ちをける台風被害の余波により、千葉方面などでは停電をはじめ御生活者が御苦労されている9月の10日です。

当プロップKは地域の活性化や世代の交流による地域の安心生活の一助を担いたいと設立したNPOです。土台は地域の公立小学校から派生した人間関係です。当然、現在も学校関係者の御支援を頂き、地域教育専任担当理事を設け、また公益社団法人日本ダーツ協会のご理解御支援によりダーツを通じた健康長寿社会の構築と障害者や異世代交流も事業柱の一つとして活動しています。その一つとして杉並区富士見丘中学校体育館を会場として

東京都ダーツ協会主催「シニア交流ダーツ大会」 参画しています

この大会はダーツ参加者の腕試しはもちろんのこと 左記の写真参照参加者同士を結び付ける力もあると思っております

そんなダーツの力を広めるため現在中高校生対象にした活動に力を注いでいます。ゲームとしての楽しさに加え年齢に応じた社会性を育む事大人と交わりながら

地域の一員としての理解を深められる活動の場を提供しています。

地域活動とかボランティアというとハードルは高いが、好きなダーツを通じた

交流やお手伝いならできそう！と賛同者が増えつつあります。なかでも全国の公立学校では初めて設立した「杉並区立富士見丘中学校ダーツボランティア部」が学校をあげて協力くださっています。

私立では学校の正式な部活動ダーツ部があるのが「私立高輪学園の中学と高等部」

ボランティアの視点から参加は「私立駒込学園中学と高等部」。この2校は本来交わることのない活動ですが、富士見丘中学校の「ダーツボランティア部」がハブとなり3校交流会を実施できました。



これから子ども達を束ねる3, 40代の教諭の活躍と生徒の笑顔や言葉に支えられて私達高齢者は生きていかねばなりません。世代の違いに戸惑うのでもなく、また安易に迎合するだけでもなく、それぞれの「アイデンティティーを尊重しながら互いに連携し、安心安全な地域生活の維持」ができる事・・・。そんな難しい事は、抜きにしても・・・的に刺さったダーツと一緒に歓声をあげるだけでも絶大な効果をもたらすと思っています。スポーツの持つ力は想像以上に尊く力強いものです。

「楽しく・自分らしく・あきらめない」の精神がプロップKのスポーツマンシップの基本。

それが「ギスギスでなくさりとしてベタベタでもないサラサラとした心地よい関係性」を生み出す子ども達の写真をみてそんなことを思い始めた。

9月の初旬です。